

ボランティア・
NPOの情報誌

ひび

69号

Oct. 2024

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

特集 NPO法人 あったかいよう
何事も楽しんで!!

ひと 徳島言友会 鈴木 淳さん
ひと 諦めから挑戦へ
change one's mind!

シリーズ この人から
一般社団法人 リボンズ 代表
大谷あおいさん

「つなガール」で地域に出向いていきます
みかけたらお立ち寄りください

事業紹介 「ゆめバンクとくしま」助成金授与式

ハートリレー
No.69 新田さんから川上さんへ



移住希望居の片付け



あまべの灯り



NPO法人 あったかいよう



思い出コンサート



釣り体験

NPO法人 あったかいよう



何事も楽しんで!! 理事長 ラ・フォンテーヌ^{ゆうこ}裕子さん

「あったかいよう」は、海陽町に住む人たちが、自分たちの未来をより良いものにするためにつくった今年で設立9年目になる団体です。

海陽町出身でUターンしてきた私は、あったかいようが主催する「歴史カフェ」に参加したことがきっかけで活動に参加するようになりました。その後、前理事長からお声がけいただき、理事長の職に就いて今年で3年目になります。引き継いでからの2年間は、海陽町にどう関わり、より住みやすく、魅力ある町にするために、あったかいようがやっていくべきことは何かを考え続けてきました。

長年県外で生活していた私は、町の人たちと一緒に活動をしたことがありませんでしたが、あったかいようで活動しているといろいろな団体や組織の方からお声を掛けてもらえます。自然と人脈も広がり、「ああ、こういうことで人の役に立つんだな」と気付かされることもたくさんあります。何と云ってもボランティアをされているみなさんは、とにかく優しい。一緒にいるのがとても楽しく、居心地がいいんです。人のために動くことがこんなに楽しいんだと、活動を通じて知ることができました。

町のみなさんが何を必要としているのか。そして、あったかいようのメンバーが本当にやりたいことは何なのかということを常に考えながら、活動していきたい。小さな子どもさんからお年寄りまで、みんなに喜んでもらいたい。幸せになって欲しいんです。そして、私たちの活動がこの先も継続されていくように、きちんとした形にしていこうと思っています。そのためには、町や社会福祉協議会との連携も欠かせません。

一人ひとりの居る場所をいい場所にしたら、町全体がいい場所になりますものね。自分も幸せで元気に生きていきたいと思っています。自分の居るところを元気にしたいと願ってやみません。海陽町が元気になること、そして自分のやりたいことをあったかいようで実現させるために、さあ、今日も外へ飛び出します。この町を元気にするために集まったとびつきり素敵な仲間たちと一緒に。「何事も楽しく!!」があったかいようのモットーです。



副理事長 家中^{いえなか たかお}孝夫さん

あったかいよう設立当初から活動を続けています。年を取ってきたので、しんどいことも多いですが、移住フェアで面談した人が、海陽町を選んで移住して来てくれた時は、自分なりに手ごたえを感じます。

私は、東京で仕事をしていてUターンしてきました。ですから、移住して来る人の気持ちも分かるし、町のみななの気持ちも分かります。海陽町のいい面も問題のある面も分かっているつもりです。そう、だから、両方の立場でこの町を今後どうしていったらいいか考えることができます。

自分の体の自由がきかんようになって、この町に住み続けられるように、また、町として存続していけるように活動をシステム化して、しっかり次の代に残していかなあかと強く思っています。

人を呼び込むためには、海陽町の魅力を作り伝えることが大事になってくるんちがうかな。地震や津波の心配もあるからインフラの整備も必要。それがないと移住しても不安でしょ。

これからも、海陽町の未来を見据えた活動をやっていきたいなと思っています。やっぱり、これからもずっと住み続けたいですからね。大好きなこの町、海陽町で。



副理事長 長尾^{ながお さなえ}早苗さん

結婚を機に、海陽町に移住してきた私。知り合いもいない土地での生活でしたが、あったかいようの活動に関わることで、たくさんの友人や仲間ができました。そして、このまちの豊かな自然と、人々の優しさに触れ、あつという間に海陽町が大好きになったのです。

私はあったかいようの活動以外にも、絵本の読み聞かせや要約筆記などさせていただいています。たくさんの活動に関わって大変だねと言われることもありますが、みなさんの喜んだ顔を見られることが何よりも私の幸せで、日々ボランティアの醍醐味を味わわせてもらっています。

「カッコいい大人になりたい」が永遠の課題である私にとって、あったかいようでは、こういう人になりたいと背中を見せてくれる先輩方がたくさんいます。身近にそういう方々がいて相談できたり、アドバイスをしてもらえる環境であることがとてもありがたいです。

『程よい距離感で、無理せず、やれる範囲で楽しみながらやる』これがあったかいようでの活動を、仲間と末長く継続していくコツ!!自らが楽しむことで、海陽町のみんなも楽しめる♪そんな素敵な魅力ある海陽町であり続けるようみんなのサポートをしていきます。



主な活動内容

移住促進

海陽町の活性化を図るため、
移住を促進する活動
(移住交流体験施設いもちの家の運営)

- 空き家片付けサポート、仕事案内
- 移住フェア参加 (行政とともに)
- 多文化共生減災ワークショップ
- ミートアップ (海陽町交流イベント)
- 草刈り講習会
- 日本語教室 などなど



いもちの家



移住希望のある空き家の片付け



観光事業

観光の振興を図る目的で、様々なツアーを開催
また、ガイドインストラクター研修も実施



DMVに乗ってヤッコソウの見学ツアー



ヤッコソウ

- サイクリングツアー
- DMVヤッコソウツアー
- スイーツマラニックツアー
- 鈴が峰ツアー

世代間交流

世代を超え地域の方々と交流を持ち、海陽町の健康と
福祉の増進を図る活動を実施

- あまべの灯り
- ええとこどりフェスタ
- 思い出コンサート
- 映画上映会
- 地域の祭りに出店し交流



ええとこどりフェスタ歌声広場



「あまべの灯り」点灯式で
海部高校郷土芸能部が演奏



NPO法人 あったかいよう お問い合わせ先

住所 徳島県海部郡海陽町奥浦字堤ノ外32

電話 0884-70-1413

HPアドレス <https://attakaiyo.org>

E-mail support@attakaiyo.org





諦めから挑戦へ

change one's mind!

徳島言友会 ^{すず き} 鈴木 ^{じゅん} 淳さん

今回は徳島言友会の鈴木さんにお話を伺いました。

言友会というのは、^{きつおん} 吃音を持つ人たちのセルフヘルプ(自助)グループです。

吃音とは、簡単に言うと人と話をする時にうまく言葉が出ずスムーズにおしゃべりが出来ない症状の事です。鈴木さんが吃音を自覚したのは小学3年生の頃。何だかお友だちとしゃべりにくいなと感じていたそうですが、言いにくい言葉は別の言葉に言い換えをして、ばれないようにしていたそうです。

そうやって工夫しながら生活していた鈴木さんですが、大学生の時、図書館でたまたま読んだ書物から「吃音」を知ることになります。書物に書かれた症状はまさに自分のことだと衝撃を受けました。しかし当時の自分は「吃音症」という言葉の障害をすぐには受け入れる事が出来ず、葛藤の日々だったそうです。

大学生活も終盤、就職活動で集団討論や面接で殆ど何も話せずに玉砕…そんな時、知人から言語聴覚士という職業があることを教えてもらいました。吃音のある自分だからこそ出来ることや寄り添えることがあるのではないかと考える反面、スラスラ話せない自分で大丈夫だろうかという思いもあり心が揺れ動いたそうです。

考えた末に、一念発起して言語聴覚士の資格を取得し医療機関へ就職します。ただ、周りには吃音があることは隠したままでした。働き始めて数年後の2019年、ターニングポイントが訪れます。医療機関で子どもの母親から吃音の相談を受け、効果的な支援方法を学ぼうと、吃音研究の学会に参加しました。そこで目にしたのは、吃音がありながらも堂々と発表する当事者らの姿。それまで隠すものだと思っていたけれど、「ありのままの自分でいいんだ…」と鈴木さん、新たな気付きの瞬間でした。

その後、自身に吃音があることを周囲にカミングアウトした時は、心からほっとしたと仰います。そこから、今までの諦めの人生からチャレンジの人生へと変わったのです。鈴木さんは動き出しました。全国の都道府県には、自助団体である『言友会』があるのに、徳島県では休止状態であることを知り、2022年言友会を再結成したのです。

毎月開催している定例会では「吃音でしんどい思いをした話ばかりではなく前向きになれる体験談も聴きたい」とメンバーから言われ「確かに失敗談だけでなく色々な成功体験を共有することが大事」だとハッとされたそうです。言友会に参加して仲間と語り、笑い、思い合うことで少しでも気持ちを楽にして欲しい。前向きになって欲しいと願いながら活動しています。これからの人生、何でも楽しんでやってみたい。「吃音だから…という理由は使わないと決めています。」と穏やかに話してくださる鈴木さんの、優しい優しい瞳の奥に揺るぎない信念が垣間見えた心地良い時間でした。

※言語聴覚士：ことばによるコミュニケーションや摂食・嚥下に問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職。言語聴覚士は問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行う。

徳島言友会 お問い合わせ先

E-mail : tokushimagenyukai@gmail.com

連絡先 : 090-4788-0375 (鈴木)

HP : <https://tokushima-gennyuukai.jimdosite.com/>



徳島言友会
ホームページ



(取材：丸山・福良)

「つなガール」で地域に出向いていきます みかけたらお立ち寄りください



公認心理師・臨床心理士
公的機関で女性相談や福祉部門に携わる。現在はカウンセリングオフィスフラミンゴにて、トラウマを抱える女性のケアを行っている。
2020年3月より現職。

SNSの普及により、膨大な情報、絶え間ない比較、もっと良いものを、こんないいものがありますよ、あなたはこれが好きですよね？と興味のある情報を送ってきます。それらを見ていると、次々に欲しくなったり、これを買えば素敵な自分になれると思ったり、このままではダメなのかもしれない、と思うこともあるかもしれません。また、タイムパフォーマンス、コストパフォーマンスなど、やろうとすることに時間や費用を換算して考えることを強要されているようにも感じます。このよう



おたに
一般社団法人 リボンズ 代表 大谷あおい

な環境にいると、人や何かと比べたり、常にどう見られているだろうかと気になってしまうこともあるかもしれません。存在していることそのものが素晴らしいのだけど、それを忘れさせるしかけが社会にあふれているように思います。そのことを再確認するためには人と交流することが大切だと感じています。

そこで、リボンズでは、学生のみなさんに会いに地域に出向いていく「つなガール」という活動をしています。2024年度も、那賀町や阿南市、小松島市、徳島市（さんさんマーケットや文理大学学園祭）などで活動予定です。コスメや雑貨、啓発グッズなども配布しています。みかけたらお気軽にお声かけください。話すのが苦手な場合は、LINE相談に遊びに来てくれたらうれしいです。

「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」助成金授与式

令和6年度「ゆめバンクとくしま」助成金授与式が7月13日に執り行われました。
助成金授与に続いて、10団体から団体の紹介や活動内容について発表があり、その後、団体間での交流が行われました。



助成団体のみなさん



No.69 新田さんから川上さんへ



かわかみ かずひこ
色鉛筆画家 川上 和彦さん

常に挑戦をする人

34才の時、多発性硬化症で車椅子の生活になり、昨日まで出来ていたことが出来なくなる。死にたいぐらい落ち込み、何か生きる楽しみをと、家族から色鉛筆をもらったことがきっかけで色鉛筆画家に。2006年、補助犬認定試験に挑戦、そして四国初の介助犬たんぼぼの誕生。たんぼぼと共に県内の小学校などで、数多くの介助犬普及活動を行っていましたが、2015年介助犬たんぼぼとの別れ、悲しみは大きかった。それでも2018年介助犬あさひと補助犬認定試験に挑戦、そして合格する。又、講演活動以外に一般の人と同じ土俵で犬の訓練競技大会に挑戦、5位入賞を果たす。私達では想像できない逆境を成長のチャンスだと捉える人です。NPO法人ボランティアドッグ育成センターは寄り添い応援をしていきます。

最後に！

たんぼぼ・あさひからのお願い！

まじよけん
補助犬を見かけたら
そっとしてあげてください

あさひ
しょう しょう ひと こま
障がい者の人が困っていたら
「なにかお手伝いしましょうか？」
と、言ってもらえたら助かります
よろしくお願ひします



しんぺん のりよし
文・新田 訓由

とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
- 【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
- 日・祝日：10:00～18:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナルより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記 若い人達が、ボランティア活動に大勢出掛けていくことを知りました。毎日、経験を積まれた方々が、熱心に活躍されています。今、周りの人に支えられて、助けていただいていたの日々ですが諦めないで、誰かの役に立つことを探していきたいと思います。(田岡)

一生、いい歯と付き合うために。
「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 松本 侯
徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977

ホームページ

CLEANUP アドプト・プログラム吉野川
吉野川を私たちの手でもっときれいに!

参加団体募集中!!
HPはこちらから↓

吉野川交流推進会議 徳島県庁 生活環境政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758

2025年度生(2025年4月1日学習開始)願書受付中!

社会福祉学科 社会福祉士養成 通信課程
一般養成課程(1年6ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 精神保健福祉士養成 通信課程
一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

詳しくはQRコードからHPをごらんください。

好きを極めてプロになる
徳島県立バティシエ福祉カレッジ
〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-873-2455